

第2回 こども園部会 会議報告

日 時:令和7年6月2日(月) 午後7時~8時10分

場 所:岡谷市役所 603 会議室

○次 第

- 1.川岸学園開校・開園までのスケジュールについて
2. 開園時期について
- 3.交流活動について

○部会で確認した内容

- ①第1回こども園部会で示したスケジュール(案)より少し具体化をしました。
こども園移行までのスケジュール表内に「担当」区分を設けて整備室・保育園・保護者会の欄を新たに追加して、担当を明確にしました。
- ②開園時期の選択肢として、令和9年度途中から又は令和10年4月から開園した場合の期待される効果(メリット)と見込まれる課題(デメリット)を示すとともに、市の考え方として、どちらの時期になっても対応をするが、一番は子どもにとって最適な時期とすることが大切だということを説明し部会員の意見を伺った。
- ③交流活動については、前保護者会長さんより、保護者を含めた交流を実施したらどうかというご意見がありましたので、どんな交流ができるか意見交換を行いました。
- ④園名について、認定こども園および義務教育学校の総称名として“岡谷市立 ●●学園”のような設定をするか否かを検討することについて、学校と一緒に考えていくことや過去に開園した西堀保育園とみなと保育園の名称検討についての内容を確認しました。

○部会で出された主な意見

- ▶開園時期については、年度途中での開園となるとやはり、4月から積み重ねてきたものが、また一からになってしまうので、今まで順調に成長してきた子ども達のことを考えると成長の妨げになってしまうのではないかなど、心配になってしまう。
- ▶新たな友達関係を築くのに時間がかかり、なかなかクラスに馴染めない子もいる。半年の時間を有効に使って両園の交流を深めることが望ましい。
- ▶保護者会としても、保護者会の編制が必要になるため、2つの組織を1つにするのは難易度が高い作業になると思う。早めに準備をしていく必要があると思うが、引継ぎ等も含めて年度途中の開園では大変になると思われる。
- ▶園服は、年度途中で開園した場合、新たなこども園で新しい園服になった場合は、年長児は半年間の通園のために園服を新調するのか。
⇒岡谷小学校が統合した際、岡谷小学校から統合対象校の田中小学校と神明小学校に行く児童の運動着等は、統一せず各学校の運動着をそのまま着用するなど柔軟な運用とした。

- ▶保護者を含む交流については、既存の園行事に保護者が参加する方法もいいと思うが、平日の昼間に参加できない保護者もいると思うので、今後行う予定の保護者説明会などを、両園合同で行い、保護者同士の顔合わせを兼ねるなどもいいのではないか。
- ▶2園の保育園を統合して、こども園が新設されると送迎者が増加することに伴い、園に入る車と出る車で県道が渋滞するのではないか。
⇒県道や市道の安全対策等については、現在、市の建設水道部や国等の補助金を活用して地域の方が住みやすい環境を整えていきたいと考えており、今後、関係部署と連携を図りながら、検討を深めてまいりたい。

○次回の部会での検討事項

- ・こども園の開園時期に関する、保護者懇談会などの意見を受けて、開園時期の方向性を確認

○次回の日程について

- ・令和7年7月中